

【今年の10月21日（日）は「孫の日」】

シニア女性に聞いた「祖母と孫の関係」に関する実態調査
孫がいるシニア女性の約7割が、「孫との関わりを増やしたくない」
孫離れを意識する「孫の5歳11歳の壁」にまつわる6つの要因とは？

販売部数16万部を誇るシニア女性誌部数No.1（※）の「ハルメク」を発行する株式会社ハルメク（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：宮澤孝夫）は、読者（55～84歳のシニア女性）311名を対象に、「祖母と孫の関係」に関するwebアンケート調査を実施いたしました。

（※）一般社団法人ABC協会・ABCレポート16万部（2017年7月～2017年12月）

【 調査サマリ 】

■55歳以上の女性で孫がいる割合は約6割。65歳以上で7割を超える。

⇒ 全体では「孫あり」は62.7%（195人）、「孫なし」は37.3%（116人）。
孫のいる女性は、64歳以下では5割に満たないが、65歳以上では7割超え。

■約9割が孫との関係に満足。その一方で約7割が孫との関わりを増やしたくないと回答

⇒ 孫との関係に、91.8%（179人）が「とても満足」「やや満足」と回答。
しかし、今後の孫とのコミュニケーション頻度の増減については、「増やしたい」が31.3%（61人）、「どちらでもない」「減らしたい」が68.7%（134人）。

■孫の年齢によって、「孫に会いたい」と思う最適な頻度は移り変わる。孫に会えば会うほど、さらに会いたくなるのは乳・幼児まで。

⇒ 孫が乳・幼児の場合は接触頻度が多いほど「会いたい意向」も高いが、小学生以上は接触頻度が多いからといって「会いたい意向」が高いわけではない。

■孫離れを意識するのは、孫が5歳と11歳のとき。

⇒ 「会いたい意向」の山は5歳と11歳の2つ。小学校と中学校の入学直前にガクッと下がる。
「子供世代への遠慮」「自分の体力の心配」「自分の時間が制限される」「過干渉の自粛意識」「孫のおばあちゃん離れ」「受験タイミング」が孫離れの6つの要因。

【調査背景】

シニア女性誌部数No.1の「ハルメク」は、長年にわたりシニア女性のインサイトについて調査・分析を行ってまいりました。子供世代の晩婚化・晩産化により、孫がいるシニア女性は高齢化に直面しています。

人生100年時代と言われる今、悠々自適な老後とはならず、老体に鞭を打ち、孫育てに時間を費やさざるを得ないケースは珍しくありません。ハルメク読者から頻りに聞こえてくる「孫は来てよし、帰ってよし」の真相はいったいどんなことでしょうか。今回は、シニア女性の孫に対する意識調査を実施いたしました。

※調査主体の「(株)ハルメクホールディングス 生きかた上手研究所」所長への取材、コメント提供も可能です。

【調査概要】

調査の方法：webアンケート方式

調査の対象：ハルメク読者 55～84歳のシニア女性

有効回答数：311名

調査実施日：2018年7月23日～26日

調査主体：(株)ハルメクホールディングス 生きかた上手研究所

※本リリース内容を掲載いただく際は、出典「ハルメク 生きかた上手研究所調べ」と明記をお願いいたします。

【お問い合わせ】ハルメクPR事務局（株式会社オンヨミ）

MAIL： halmek-pr@onyomi.jp TEL：050-3743-0062（中嶋）/050-3701-2155（漆畑）
ハルメク公式サイト（www.halmek.co.jp）ハルメク雑誌サイト（<https://magazine.halmek.co.jp/>）

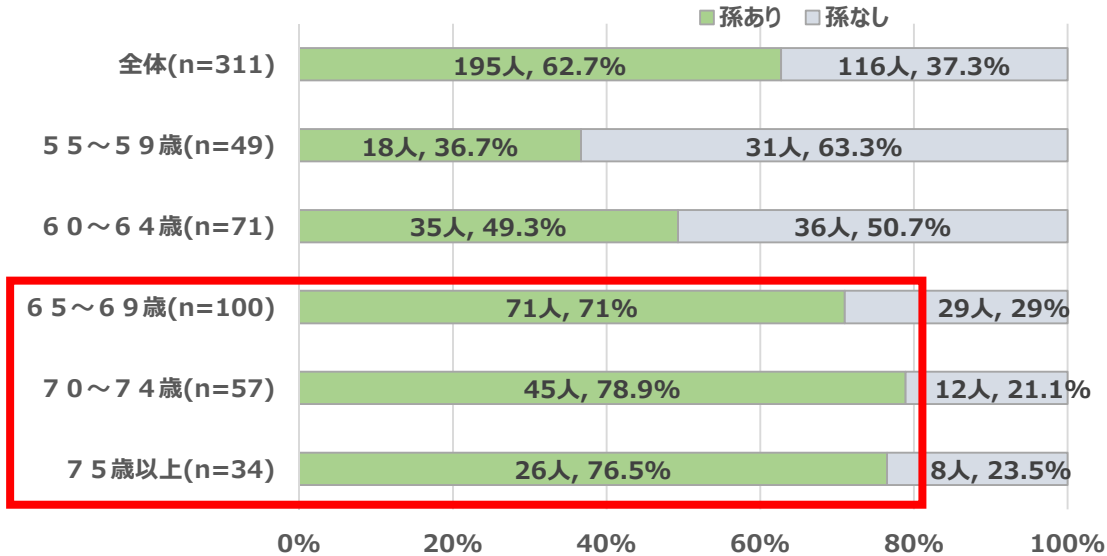
55歳以上の女性で孫がいる割合は約6割。65歳以上で7割を超える。

全体では「孫あり」は62.7% (195人)、「孫なし」は37.3% (116人)。

孫のいる女性は、64歳以下では5割に満たないが、65歳以上では7割超え。

■年齢別にみた孫のいる55歳以上女性の割合

※55～84歳のシニア女性311名



約9割が孫との関係に満足。その一方で、約7割が孫との関わりを増やしたくないと回答

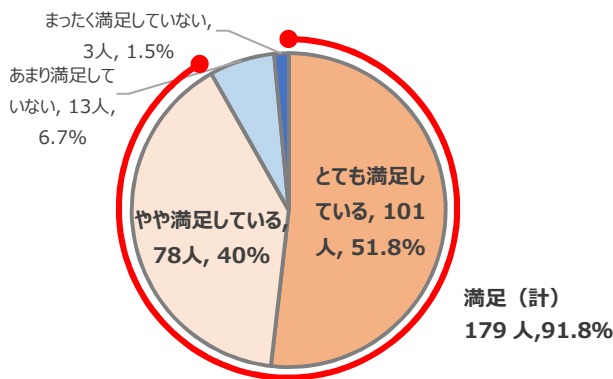
孫との関係に、91.8% (179人) が「とても満足」「やや満足」と回答。

しかし、今後の孫とのコミュニケーション頻度の増減意向※でみると、「増やしたい」と積極的な態度を示した比率は31.3% (61人)、「どちらでもない」「減らしたい」が68.7% (134人)。

※コミュニケーション頻度の増減意向＝孫に会いたい意向度

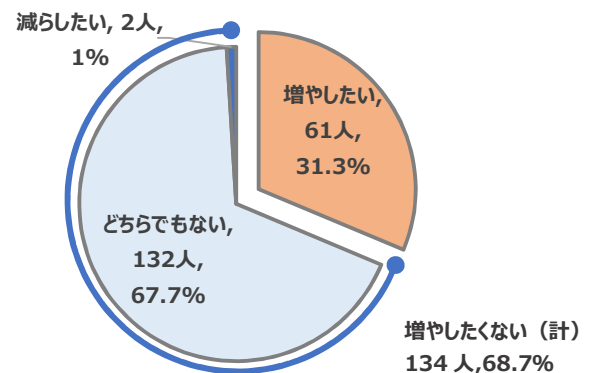
■「孫」との関係 満足度

孫あり 195名



■「孫」とのコミュニケーション頻度意向

孫あり 195名



■「孫」との今後のイメージ

孫あり フリーコメントから抜粋

- ・気が向いた時に、遊びに来ればいい (茨城県、72歳)
- ・今の状態が続いていけばいい。つかず離れずの関わり方がちょうどいい (東京都、74歳)
- ・勉強、クラブ、お稽古など忙しいので無理して会わなくても良い (大阪府、68歳)

【お問い合わせ】 ハルメク PR 事務局 (株式会社オンヨミ)

MAIL: halmek-pr@onyomi.jp TEL: 050-3743-0062 (中嶋) / 050-3701-2155 (漆畑)

ハルメク公式サイト (www.halmek.co.jp) ハルメク雑誌サイト (<https://magazine.halmek.co.jp/>)

孫の年齢によって、「孫に会いたい」と思う最適な頻度は移り変わる 孫に会えば会うほど、さらに会いたくなるのは乳・幼児まで

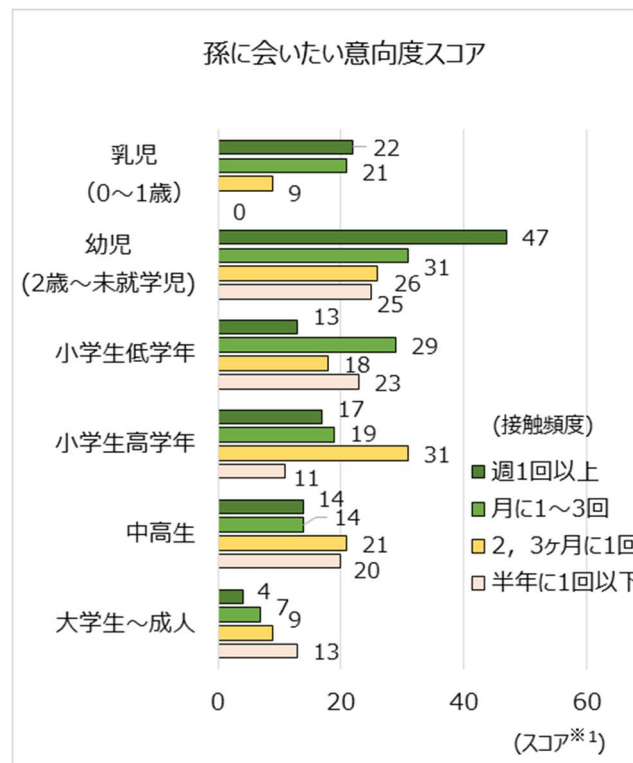
「孫の年齢（横軸）」が上がるに従い「現在の孫との接触頻度（縦軸）」が少なくなる人の割合が多い

		現在の孫の年齢					
n=193		乳児 (0~1歳) (n=21)	幼児 (2歳~未就学児) (n=57)	小学生低学年 (n=37)	小学生高学年 (n=34)	中学生、高校生 (n=29)	大学生~成人 (n=15)
現在の孫との接触頻度	週1回以上	42.9	38.6	16.2	23.5	20.7	13.3
	月に1~3回	42.9	24.6	35.1	23.5	20.7	20.0
	2,3ヶ月に1回	14.3	19.3	21.6	38.2	31.0	26.7
	半年に1回以下	0.0	17.5	27.0	14.7	27.6	40.0

孫がいる 195 名中、直近 1 年以内に孫と直接会ったことがある 193 名で集計
単位は%、30%以上のポイントを色付け

■ 「孫の年齢」 × 「孫に会いたい意向度」は負の相関関係が生じる

「孫の年齢」ごとに「孫に会いたい意向度」をみると、「孫の年齢」×「孫に会いたい意向度」は負の相関が生じる。孫が乳・幼児の場合は接触頻度が多いほど「孫に会いたい意向度」も高いが、小学生以上は接触頻度が多いからといって「孫に会いたい意向度」が高いわけではない。



孫がいる 195 名中、直近 1 年以内に孫と直接会ったことがある 193 名で集計

※1：孫に会いたい意向度スコアは、孫とのコミュニケーション頻度を「増やしたい」とした回答を3、「どちらでもない」を2、「減らしたい」を1としてスコア化し、接触頻度別の回答数にスコア乗じて算出した。

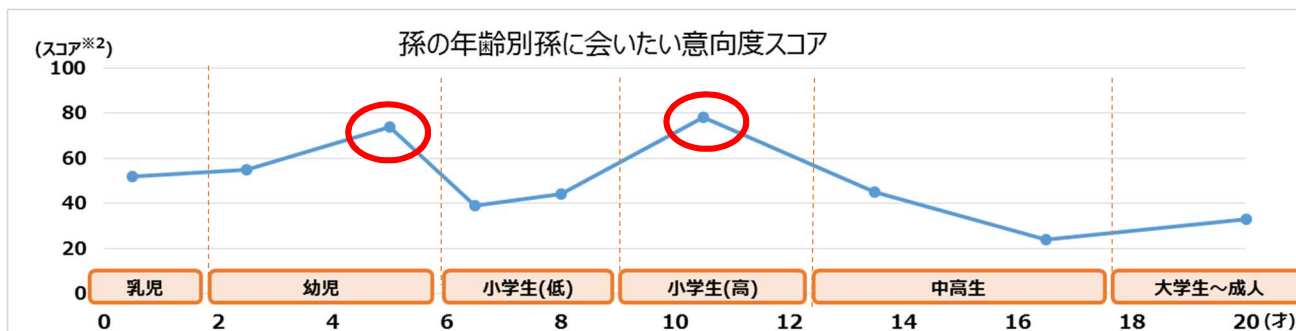
【お問い合わせ】 ハルメク PR 事務局（株式会社オンヨミ）

MAIL： halmek-pr@onyomi.jp TEL：050-3743-0062（中嶋）/ 050-3701-2155（漆畑）

ハルメク公式サイト（www.halmek.co.jp）ハルメク雑誌サイト（<https://magazine.halmek.co.jp/>）

孫離れを意識するのは、孫が5歳と11歳のとき

「孫に会いたい意向度」が上昇する山は2つ。5歳（小学校に上がる前）と11歳※1（中学校に上がる前）がピークとなっており、入学直前にガクッと下がる。



※1 正確には10.5歳だが11歳と記載

※2 孫に会いたい意向度スコアとして、「増やしたい」を3、「どちらでもない」を2、「減らしたい」を1としてスコア化し、年齢別の回答数にスコア乗じて算出。

■ 「孫離れ」6つの要因

フリーアンサーより孫離れの6つの要因が明らかになった。

「子供世代への遠慮」「自分の体力の心配」「自分の時間が制限される」「過干渉の自粛意識（孫が成長したら過干渉になってはいけないという意識）」「孫のおばあちゃん離れ」「受験タイミング」

① 子供世代への遠慮

- ・両親の考えと本人の意思を尊重するために多少の距離が必要と考えている（神奈川県、67歳）
- ・親の子供なので、祖母の自由にはならない（山形県、77歳）

② 自分の体力の心配

- ・可愛くても自分の体力がついていかない。しんどい（東京都、66歳）
- ・ガラス越しに見て楽しい存在、直接かまうには体力が持たない（兵庫県、73歳）
- ・年をとるにつれ、体力の衰えや精神的に健全でいられるか心配（愛媛県、76歳）

③ 自分の時間が制限される

- ・お迎えを頼まれる以外は お互いに週末しか時間がなかったので、今の状態でいっぱいです（東京都、79歳）
- ・同居で、親が働いているので1日ベッタリ一緒。来年、上の子は小学生、下の子は幼稚園です。そうしたら、自由な時間ができるので、午前中パートに行くかシニア大学に行きたい（愛知県、62歳）

④ 過干渉の自粛意識

- ・来年は高校生なので、あまり干渉しない方がいいと思う（神奈川県、70歳）
- ・5年生となり、自分で何でもできるようになったので、過保護にならぬよう手助けはしながらも見守って行きたい（群馬県、70歳）
- ・成長してきて これからの接し方を変えていかなければと思案中（73歳、東京都）

⑤ 孫のおばあちゃん離れ

- ・来年は高校生。それなりの友人や付き合いが出てきて、たぶん減ってくると思います。でも、それは自然の成り行きですので（73歳、神奈川県）
- ・高学年以後は忙しくなるので無理だと思う。自分のやりたいことが祖父母とのコミュニケーションではかわいそう（73歳、兵庫県）

⑥ 孫の受験タイミング

- ・孫が塾に入り忙しくなってきた。中学受験をするようであればこれからは帰省回数が少なくなるかもしれません（福岡県、66歳）
- ・私学に行くので忙しそう（兵庫県、73歳）

※孫あり フリーコメントから抜粋

【お問い合わせ】 ハルメク PR 事務局（株式会社オンヨミ）

MAIL: halmek-pr@onyomi.jp TEL: 050-3743-0062 (中嶋) / 050-3701-2155 (漆畑)

ハルメク公式サイト (www.halmek.co.jp) ハルメク雑誌サイト (<https://magazine.halmek.co.jp/>)

【取材可能】「孫との時間を減らしたい」シニア女性

K.M さん（仮名希望）79 歳女性 東京都在住

息子家族が近居 15 歳、10 歳、6 歳（全員男の子）3 人の孫を持つ

普段の孫との接し方

- ・ 普段、15 歳の孫が放課後家に遊びに来て、晩ごはんを作ってあげる
- ・ 週末は遊びに来た 6 歳の孫と一緒にお昼を食べることも多い
- ・ これからの秋のシーズンは学園祭や運動会と、それぞれ孫のイベントが毎週控えている

今後の孫との付き合い方に関して

ハルメクのアンケートでは「孫との時間を減らしたい」を選択

理由：孫は可愛いし関係性は良好だが、自分は普段からボランティア活動やヨガ通いなど趣味で忙しいこともあり、スケジュール的に今の状態でいっぱいだから

【専門家の見解】

株式会社ハルメク 生きかた上手研究所 所長 梅津 順江（うめづ ゆきえ）

2016 年 3 月から現職。主に年間約 700 人の 50 歳以上のシニア女性を対象にインタビューや取材、ワークショップを実施



～「孫は来てよし、帰ってよし」の真相に迫る～

孫のいる読者と接していると「孫はかわいい」とおっしゃいますが、「でもね・・・ごによごによ」と歯切れが悪い感じです。座談会などでは、「孫は来てよし、帰ってよしだわ～」「そうそう」という話題で盛り上がるのが一度や二度ではありません。

決定的だったのが、研究所メンバーが足の治療に行ったときに高齢女性二人が待合室でしていたおしゃべり。「明日孫がくるのよ～」「あ～面倒ね」「なんかいい言い訳ないかしら～」という会話が聞こえてきたようです。歓迎したくないわけではないし、良い関係を崩したくない、けれど、気乗りしない様子が伺えます。

これらの真相をつきとめるべく、実施したのが、今回の調査です。「手放しでかわいい。何度でも会いたい」時期が乳・幼児までで、孫との関係の節目が 5 歳と 11 歳という特定の年齢だとはっきりしました。また、孫離れに関しては「体力の心配」「時間が制限される」など自分事情だけではなく、「子供世代への遠慮」「孫の受験」など子供・孫世代の事情も影響していることが明らかになりました。子供や孫とは適度な距離感をもって付き合っていくことがお互いの幸せにつながるのでしょうか。

【お問い合わせ】ハルメク PR 事務局（株式会社オンヨミ）

MAIL： halmek-pr@onyomi.jp TEL：050-3743-0062（中嶋）/ 050-3701-2155（漆畑）

ハルメク公式サイト（www.halmek.co.jp）ハルメク雑誌サイト（<https://magazine.halmek.co.jp/>）